

農家所有牛の採胚による改良・増殖

当センターでは、農家を訪問し、高能力牛から受精卵(胚)を採取する農家採胚を行っています。

今月は、中丹地域の和牛、丹後地域の和牛及び乳牛の計4頭から受精卵を採取し、正常胚について21頭の受胚牛に移植するとともに、11個は凍結保存しました。

受胎した牛は来年の8月に子牛を産み、能力の高い子牛がそれぞれの農家で育ち活躍する予定です。



牛の左右の子宮角から受精卵を採取します